

美園中だより



さいたま市立美園中学校

TEL 048-878-0019

<https://misono-j.saitama-city.ed.jp/>

第10号 令和8年2月2日

学校教育目標
『知性・自律・健全』

～世界へ・未来へ～

☆知性「知を磨き」

☆自律「自らを律し」

☆健全「心身を鍛える」

「良さ」を見つけるために

校長 坂口 洋美

寒さの中にも、時折春の気配が感じられるようになってきました。春は近づいてきているようですが、急に寒い日もあって寒暖差に体が追いつかなくなったりした今日この頃です。

10月下旬から1月頭まで、3年生の面接練習をしました。卒業を控えた3年生一人ひとりの今後の進路に向けた気持ちや意気込みを聞くために、原則全員ということで実施しました。志望動機や上級学校で頑張りたいこと等を聞きました。中学校で頑張ったことを聞くと、部活動や委員会活動、体育祭などの行事、と回答が様々あるのに対し、生徒の答えが重なることが多い質問がありました。それは「美園中学校のよいところはどんなところですか」という質問です。体感ですが7割の3年生が「自然豊かなところ」と答えてくれました。確かに本校のよいところと言えますが、生徒の関わりが見えづらく、ただ単に環境にたまたま恵まれたとも取れます。中には「みんなで植栽に力を入れているので、緑が多い環境を保てています」と答えてくれる生徒もいました。これは、自分達の関わりが見えるのでいい答えだと思います。自分が取り組んだ姿が相手の目に浮かぶような話ができれば、より自信をもって答えることができます。そういう観点からみると、本校のSTEAMS TIMEの取組は唯一無二の取組です。特に3年生のサギポワグッズの商品開発、販売会、寄附の流れは他校では見られないものです。今年の販売会は浦和美園イオンで行い、日頃、中学校とは関わりのない市民の皆さんにも活動の意義を知ってもらい、購入いただきました。取組は、ほぼ1年をかけて行うものなので、是非自信をもって語れるようになってほしいです。自分たちを客観的に見たり、いろんな人から意見をもらったりすることで、より自分の良さや集団の良さに気付くときがあります。このSTEAMS TIMEもその一つです。また、自分の長所と短所も、意外と自分では分からぬものです。これも自分を客観視することが大切です。「物事を俯瞰する」という言葉があります。自分や学校の側面・良さを知って、面接やその他の場面でも問われたときに、堂々と答えられるようにしたいものです。3年生が精一杯の力で進路決定に臨めることを願っています。